

八王子市入札監理評議会 議事要旨（定例評議会）

開催日時及び場所	平成30年4月4日（水） 10:00～正午 501会議室				
出席評議員	谷垣評議員、伊保谷評議員、奥評議員				
抽出案件			（期間：平成29年8月1日～平成30年2月28日）		
区分	件数	通番	案件名	通番	案件名
1 一般競争入札	2件	1-①	黒沢川改修工事	1-②	市道由木632号線道路舗装その3工事
2 指名競争入札	1件	2-①	小宮八石陸橋道路照明灯取替工事		
3 随意契約	1件	3-①	大平公園トイレ建て替え工事(その2)		
抽出案件ごとの質疑	通番	質問等		回答等	
	1-①	1 入札参加希望申請をした準市内業者はいるか。 2 業者側の積算で予定価格を超えたため辞退するということが多いか。 3 現場で起こる不測の事態を変更契約で対応することはあるか。		1 落札者が準市内業者で、あとは全て市内業者。 2 他の案件を抱えている場合や、実際の工事現場を確認し、施工困難と判断した場合に辞退することもある。 3 当該工事の目的を変更しない限度において、特に必要な場合又はやむを得ない場合に、金額の増減変更や、工期変更を行うことがある。	
	1-②	1 各事業者は、技術点を事前に試算できるか。 2 八王子市の予定価格は事前公表しているのか。		1 自社で技術評価点申告書を作成するので、概ね何点獲得出来るのか計算出来る。他社については過去の入札経過調書で点数を公表しているため、概算は把握できる。 2 予定価格と最低制限価格を事前公表している。本年度より、総合評価方式案件を対象に導入した低入札価格調査制度においては、調査基準価格と失格基準価格の算出方法を事前公表し、価格に関しては事後公表の運用とした。	
	2-①	1 指名基準でBランク業者となっている工事でも、Aランク業者を指名することは多いのか。 2 各工種の登録業者の受注状況を確認しながら、かつ分割発注する、というのはどのような方針で取り組んでいるのか。		1 同時期に同じ業種の指名が複数案件あった場合、それぞれの等級に対応する予定価格の範囲を超えて指名するということがある。 2 各所管課に、年度当初に契約できるよう、早期発注を促している。しかし、所管課が契約準備や関係各所との調整に時間がかかってしまい、なかなか早期に発注できないということもある。	
	3-①	1 指名競争をすることはできなかったか。 2 今回の契約相手方を指定した理由は何か。		1 既設トイレは解体済であり、年度内に竣工させる必要があったため、前回の入札結果と工事の工程管理とを考慮し、1者指定の随意契約とした。 2 本市における建築工事の受注実績が多数あり、かつ平成29年度に、2件の公園内のトイレ設置工事の施工実績があり、本案件にも迅速に対応できる事業者を選定した。	
抽出案件に関する意見等		特になし			
その他運用状況等					
意見等を求める内容		特になし			
概要		特になし			
意見等		予定価格と最低制限価格が事前公表のため、入札参加者が多い案件では、入札金額が最低制限価格と同額により、くじ引きが多くなる傾向にある。それでは競争入札の意味を成していないのでは。 →本年度より、総合評価方式案件を対象とし、低入札価格調査制度を導入した。調査基準価格と失格基準価格に関しては、計算方法を事前公表し、価格を事後公表としている。価格を抑えた上で工事の品質確保をするという点について、今後検証していく。			